

# LAMP® 垂直収納扉金物 ALT-2V-10型 かぶせ仕様 取付説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。取付作業前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。取付後は本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

## 本製品について

- ・家具用の垂直収納扉金物です。
- ・開いた扉をキャビネットの内側に収納することができます。

## 正しく安全に取り付けていただくために

### 図記号の意味



### 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

- ① 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度のキャビネットを用意してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをされるおそれがあります。
- ② 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉の反り、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- ③ ハンドルの取付位置は、扉を収納したときでもハンドルを握った手が側板に当たらない位置に設置してください。
- ④ 取付けおよびメンテナンスの為、中軌立を取外し可能な構造にしてください。
- ⑤ 取付終了後、キャビネットを移動するときは、破損防止のため必ず扉を外してください。
- ⑥ 本製品は家具を構成する為の部品です。取付終了後に、最終製品としての機能及び安全性をご確認ください。
- ⑦ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めをしてください(お使い始めから1か月後と6ヶ月後、その後は1年ごとが目安となります)。

### 開閉操作について・・・使用する方に必ず伝えてください。

- ⑧ 扉の開き角度は90°です。これ以上開こうとして無理な力を加えないでください。
- ⑨ 扉を閉じる際には、扉を完全に引き出してから閉じてください。
- ⑩ 扉の収納操作の繰り返しにより、内部レールがずれて扉の移動距離が短くなることがあります。その際には扉を完全に奥まで押し込むか、扉を完全に引き出すかしてずれを修正してください。

## 部品表

品番 (下2桁を除く)	部品セット										
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
<b>ALT-2V-10S [Sタイプ]</b> 扉質量：5kg以下、扉幅：560mm以下 扉高さ：830～1060mm、扉厚：18～20mm	2本	ALT55-S ：1本	2ヶ	2ヶ	2ヶ	1ヶ	2ヶ	A、B 各1ヶ	2ヶ	2ヶ	2ヶ
<b>ALT-2V-10M [Mタイプ]</b> 扉質量：6kg以下、扉幅：560mm以下 扉高さ：1250～1500mm、扉厚：18～20mm	3本	ALT55-M ：1本	3ヶ	3ヶ	3ヶ	2ヶ	2ヶ	A、B 各1ヶ	2ヶ	2ヶ	3ヶ
<b>ALT-2V-10L [Lタイプ]</b> 扉質量：8kg以下、扉幅：560mm以下 扉高さ：1650～1840mm、扉厚：18～20mm	3本	ALT55-L ：1本	3ヶ	3ヶ	3ヶ	2ヶ	2ヶ	A、B 各1ヶ	2ヶ	2ヶ	3ヶ
<b>ALT-2V-10LL [LLタイプ]</b> 扉質量：10kg以下、扉幅：600mm以下 扉高さ：1990～2300mm、扉厚：18～20mm	4本	ALT55-LL ：1本	4ヶ	4ヶ	3ヶ	2ヶ	2ヶ	A、B 各1ヶ	2ヶ	2ヶ	3ヶ

品番 (下2桁を除く)	部品セット						
	⑫十字穴付バインド タッピンねじ3.5×15	⑬十字穴付バインド タッピンねじ4×16	⑭十字穴付丸皿タッピン ねじ3.5×15	⑮十字穴付低頭 皿小ねじM4×8	⑯座付六角穴付 ボルトM4×6	⑰六角レンチ	
ALT-2V-10S	20ヶ	6ヶ	4ヶ	2ヶ	6ヶ	1ヶ	
ALT-2V-10M/L	30ヶ	6ヶ	6ヶ	3ヶ	9ヶ	1ヶ	
ALT-2V-10LL	37ヶ	6ヶ	8ヶ	4ヶ	12ヶ	1ヶ	



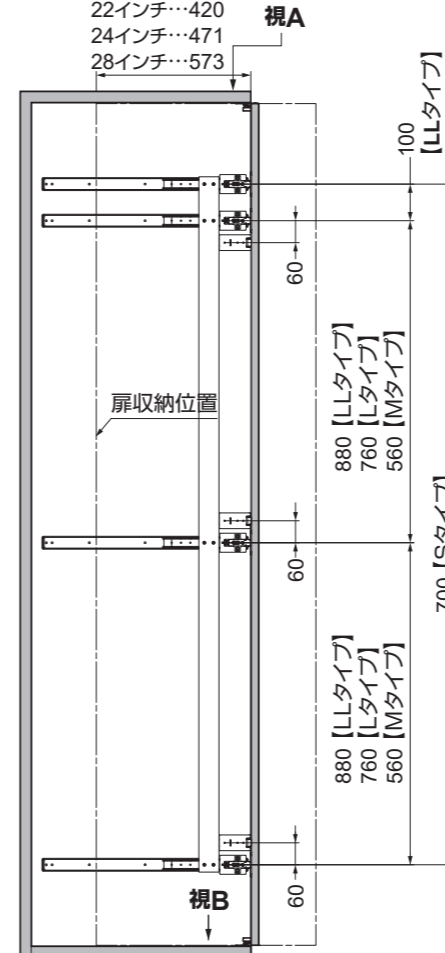
## 寸法図

扉は側板に対して10mmかぶせ、天板・地板に対しては、インセット仕様です。

### キャビネット断面図

レールと扉収納量の関係

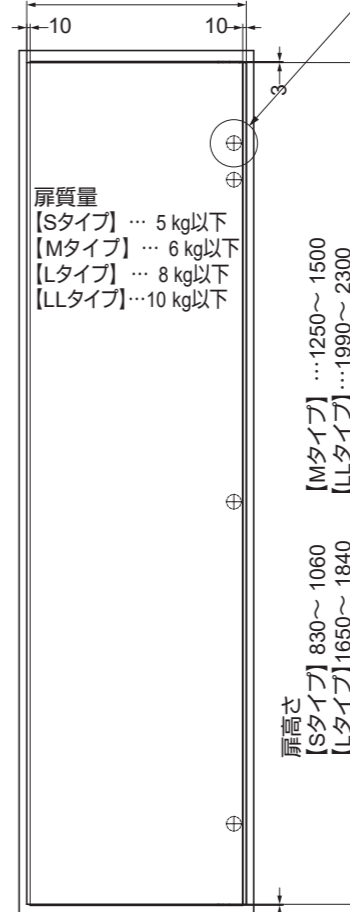
- 16インチ…268
- 19インチ…344
- 22インチ…420
- 24インチ…471
- 28インチ…573



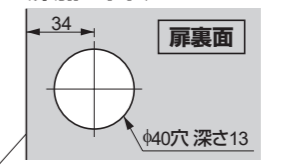
### キャビネット正面図

扉幅  
[S、M、Lタイプ]…560以下  
[LLタイプ]…600以下

扉質量  
[Sタイプ]…5kg以下  
[Mタイプ]…6kg以下  
[Lタイプ]…8kg以下  
[LLタイプ]…10kg以下



### 扉加工図 (扉厚：18～20mm)



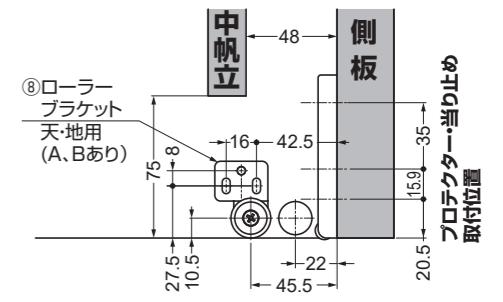
### 扉先端へのハンバーまたは戸当り (お客様手配) 取付け

扉先端に2mmのすき間ができるため、ハンバー等を設置してください(観音開きも同様)



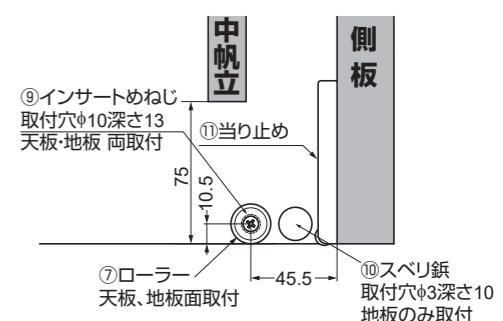
### 視B図

(ローラーブラケット⑧を使用する場合)

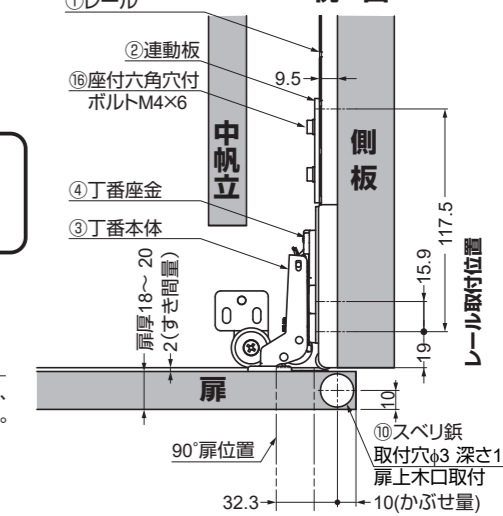


### 視B図

(インサートめねじ⑨を使用する場合)



### 視A図

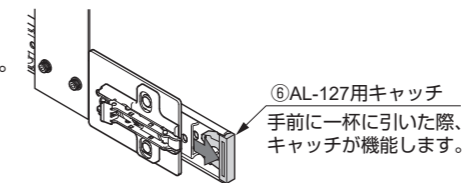


### 注意

- ・レールは、必ず平行に取り付けてください。
- ・レール下側2本の前面側には必ず、キャッチ⑥を取り付けてください。([Sタイプ]の場合：下側1本のみ)。

### キャッチ⑥の取付け

- ・本部品は、扉を引出した際に扉を保持します。
- ・レールのキャビネット前面側に取り付けます(取付手順の③参照)。

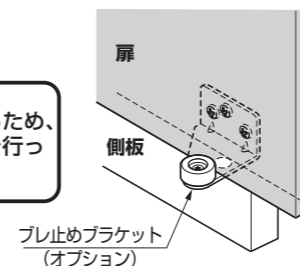


## ブレ止めブラケット (オプション)

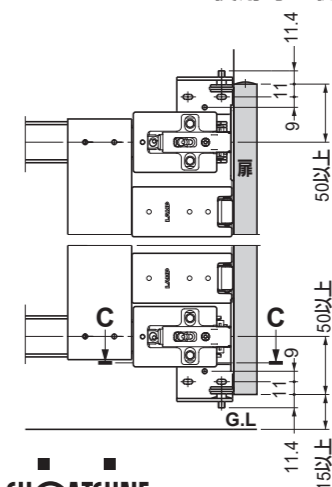
- ・本ブラケットは、ローラーを天板や地板に取り付けできない場合、側板で保持する仕様にすることができます。
- ・ブラケットは左右があります。

品番	適用
ALT-2V5BR1	右下、左上用
ALT-2V5BR2	左下、右上用

- ① 注意  
ブラケットが出っ張るため、使用者への注意喚起を行ってください。

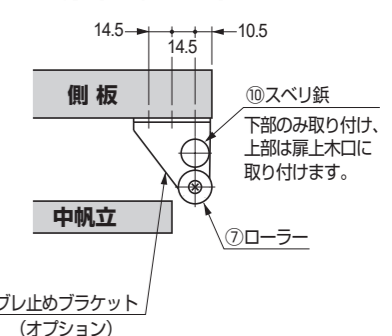


### ブレ止めブラケット使用時の取付寸法



### 視C-C図

下図は、右付用を示します。左付用は下図の対称となります。

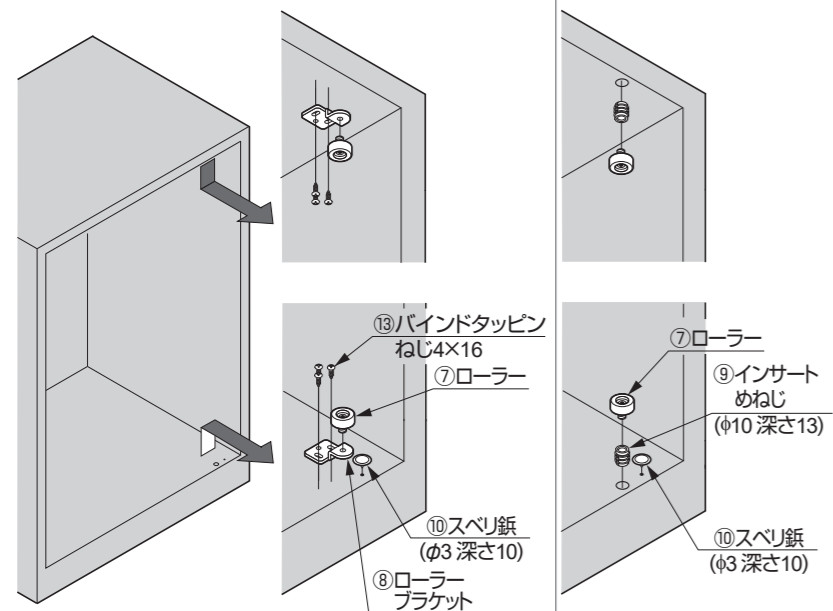


# 取付手順

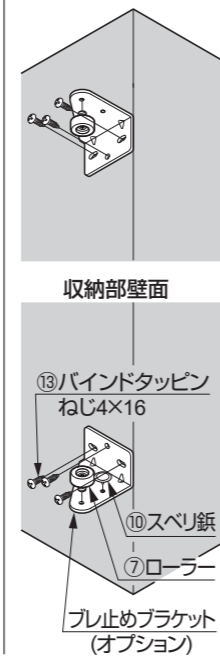
## 1 ローラー、スベリ鉄の取付け

### ■ローラーを天板・地板に取り付ける場合

〈ローラーブラケット⑧を使用〉 〈インサートめねじ⑨を使用〉



### ■ローラーを側板で保持する場合

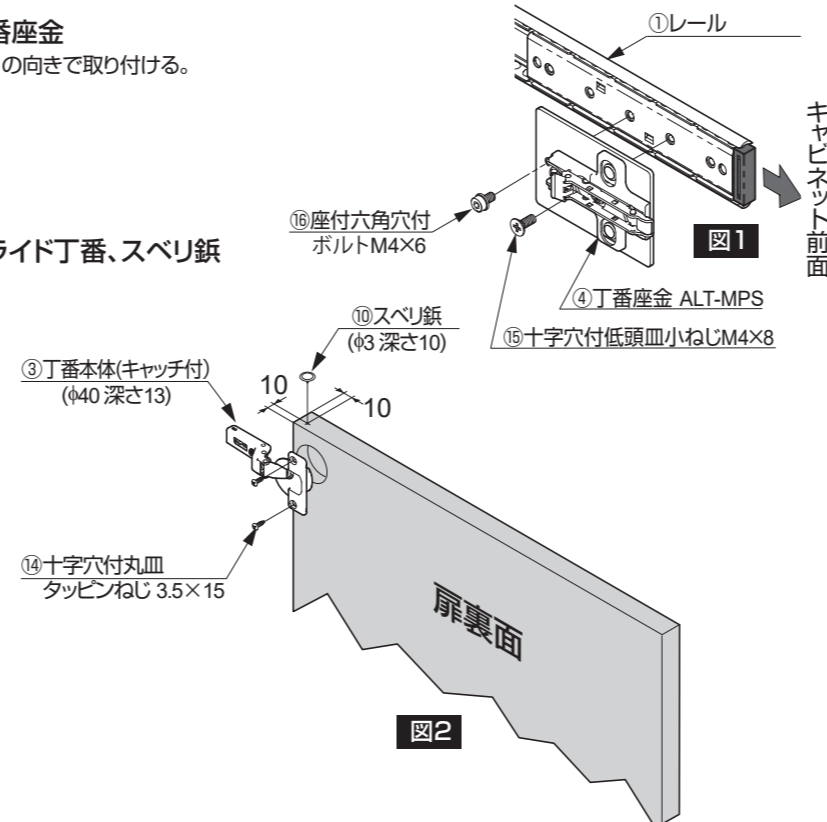


## 2 座金取付プレート、スライド丁番、スベリ鉄の取付け

### ■丁番座金

図1の向きで取付ける。

### ■スライド丁番、スベリ鉄

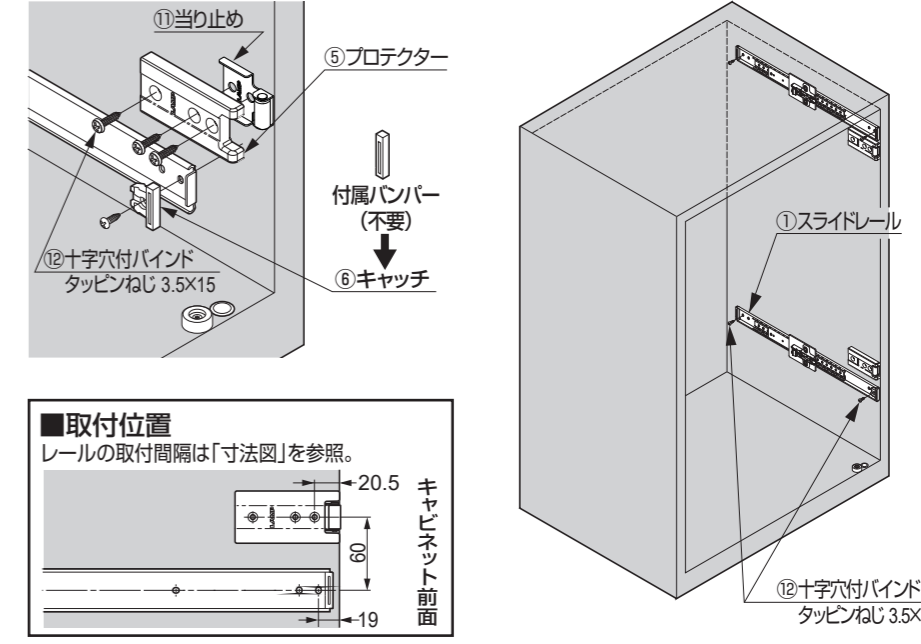


## 3 レールの仮止め(キャッチの付け替え)、プロテクター、当り止めの取付け

### ■プロテクター⑤、当り止め⑪、キャッチ⑥

■レール  
指定した位置に、前後2ヶ所のみ仮止めする。  
(残りは⑤-(3)で固定する)

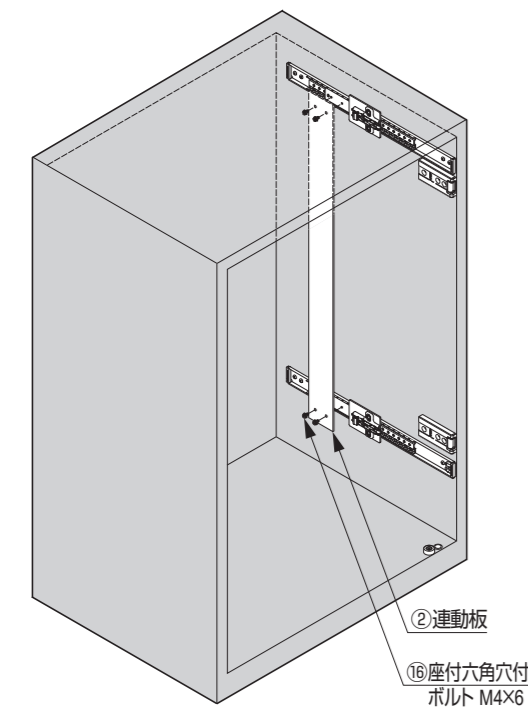
下側2本のレールは、([Sタイプ]は、下側1本のみ)、付属のバンパーを外し、キャッチ⑥に付け替える。



## 4 連動板の取付け

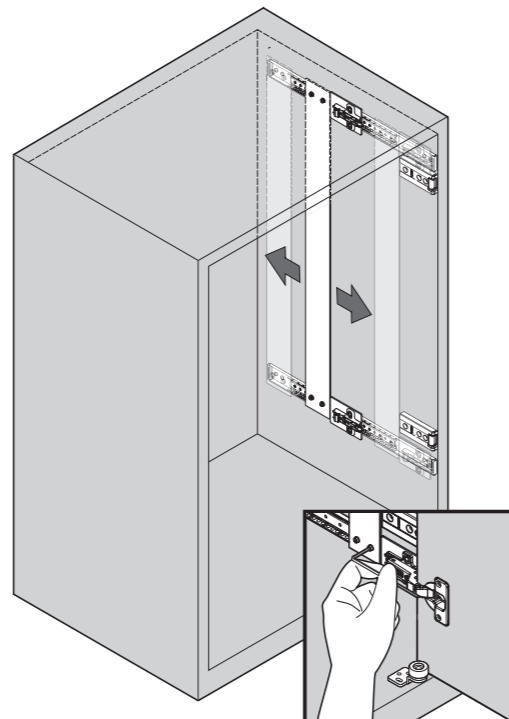
連動板②をレール①に、座付ボルト⑩でがたつきが無い程度に仮止めする。

この作業は5からのレールおよび連動板を正しい位置に固定するための作業です。



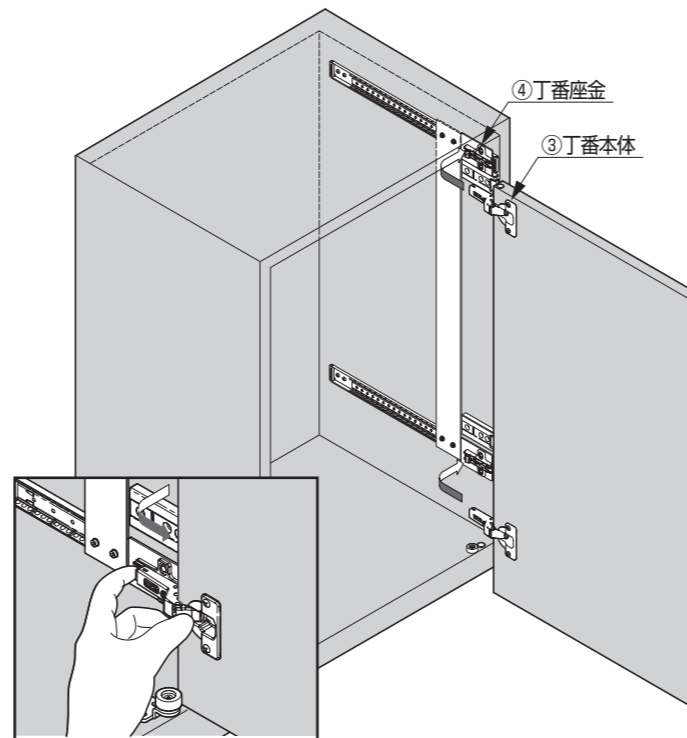
## 5 レールの平行度調整

- 連動板②を持ち、下図の様に前後両端まで動かし、平行で滑らかに動くよう、全体のねじの位置を調整する。
- 座付ボルト⑩を締め込み、連動板②とレール①を固定し、動きを確認する。
- 3で仮止めたねじ⑩をしっかり締め込み、動きを確認する。
- 残りのレール取付穴にバインドタッピンねじ⑬を締め込む。



## 6 扉の吊込み

- レール①に取り付けてある丁番座金④に、全ての丁番本体③を右図のように押し込み、固定する。
- 各部のねじの緩みが無いことを確認する。



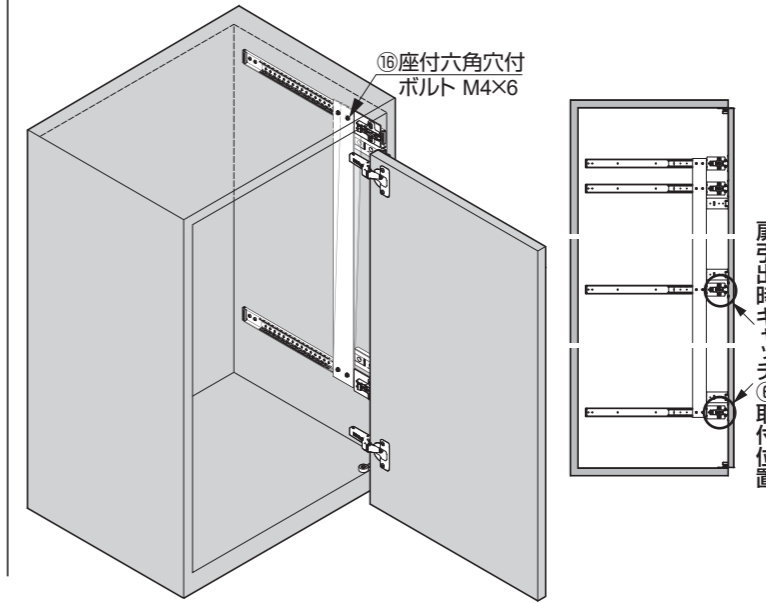
■扉の外し方  
丁番座金④の後端部のレバーを押しながら扉を開くようにすると、簡単に外れます。

## 7 扉の垂れ調整

吊り込んだ扉が、開いた状態で扉先端が垂れ下がってしまう場合。

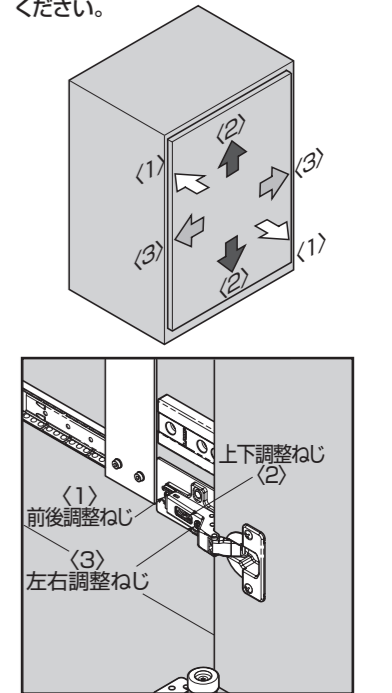
下記の手順で若干の調整ができます。

- 扉を外す。
- 連動板②の座付ボルト⑩を緩める。
- 連動板②の上の方をキャビネットの奥行き方向に傾けた状態で座付ボルト⑩を締め直し、扉吊り込み時にレールと連動板が垂直になるようにする。



## 8 扉の調整方法

扉を閉じた状態で、扉に傾きが生じた場合は、下図の各調整ねじで調整してください。



⚠注意  
調整には手回しのドライバーを用いてください。  
調整ねじを回し過ぎないでください。破損の原因になります。